

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東京本部(新宿住友ビルディング)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	1	9	
事業所等の所在地	〒	1	6	3	-	0	2	4	1	区市町村名	新宿区
	町名番地以下	西新宿2-6-1新宿住友ビルディング41F									
事業所等の延床面積	1,523.87		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分		<input type="checkbox"/> 1年未満			
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有		<input checked="" type="checkbox"/> 他者所有								
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部		<input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント)				<input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所		<input type="checkbox"/> 商業施設(物販)			<input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)					
	<input type="checkbox"/> 工場		<input type="checkbox"/> 複合施設			<input type="checkbox"/> その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店		<input type="checkbox"/> 加盟店		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	81	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	121 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	121 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	79.4 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	318,407.0	9.97	3,174.5	0.382	121.6
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.382	⑬
合計					⑭	3,174.5		⑮	121.6
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計								⑯	0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の 使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用	

実績年度の目標達成の状況

 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	コンタクトセンター企画部(聖路加ガーデン・聖路加タワー)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	2	7	
事業所等の所在地	〒	1	0	4	-	6	5	9	1	区市町村名	中央区
	町名番地以下	明石町8-1聖路加ガーデン・聖路加タワー10F、33F									
事業所等の延床面積	2,484.77		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分		<input type="checkbox"/> 1年未満			
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有		<input checked="" type="checkbox"/> 他者所有								
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部		<input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント)				<input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所		<input type="checkbox"/> 商業施設(物販)			<input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)					
	<input type="checkbox"/> 工場		<input type="checkbox"/> 複合施設			<input type="checkbox"/> その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店		<input type="checkbox"/> 加盟店		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	105	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	156 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	156 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	62.7 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他(温水)	<input type="checkbox"/>	MJ	200,080.0	1.36	272.1	0.052	10.4	
	その他(冷水)	<input type="checkbox"/>	MJ	535,100.0	1.36	727.7	0.052	27.8	
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	308,383.4	9.97	3,074.6	0.382	117.8
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	
合計					⑫	4,074.4		⑬	156.0
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計								⑭	0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用	

実績年度の目標達成の状況

 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	営業事務部(東京YWCA会館)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	2	8	
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	6	2	区市町村名	千代田区
	町名番地下	神田駿河台1-8-11東京YWCA会館5F									
事業所等の延床面積	730.70		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)										
	<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分	<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点	2014年7月15日付で6,7階を解約、また、2014年11月30日付で4階を解約した。この結果、2013年度末の2,922.71m ² から、2014年12月以降は730.70m ² となった。										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	49	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	73 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	73 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	99.9 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他(温水)	<input type="checkbox"/>	MJ	559,085.0	1.36	760.4	0.052	29.1	
	その他(冷水)	<input type="checkbox"/>	MJ	373,826.0	1.36	508.4	0.052	19.4	
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	66,549.0	9.97	663.5	0.382	25.4
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合計					⑬	1,932.3	⑭	73.9	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計							⑮	0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策				
	設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	<input type="text"/>	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	<input type="text"/>	t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	MS&AD事務サービス(北八王子キャンパスビル)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	3	5	
事業所等の所在地	〒	1	9	2	-	8	5	1	0	区市町村名	八王子市
	町名番地 以下	高倉町9-1北八王子キャンパスビル1F、2F、3F、4F									
事業所等の延床面積	5,477.85		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)										
	<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分	<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点	事業所の延床面積を四捨五入した面積から実質面積へと変更した。										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	281	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	437 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	437 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	79.7	kg-CO ₂ /m ²
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)		

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	20,583.9	45.00	926.3	0.014	46.9	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		<input type="checkbox"/>	kWh	1,022,163.0	9.76	9,976.3	0.382	390.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	⑬	0.0
合計					⑭	10,902.6		⑮	437.3
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計								⑯	0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用	

実績年度の目標達成の状況

 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	金融公務営業推進本部(住友生命四谷ビル)											
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	3	7		
事業所等の所在地	〒	1	6	0	-	0	0	0	0	区市町村名	新宿区	
	町名番地下	本塩町8-2住友生命四谷ビルB1F、1F、2F、3F										
事業所等の延床面積	1,026.08		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満						
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有											
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)			<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	38	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	58 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	58 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	56.5 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	3,253.8	45.00	146.4	0.014	7.4	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	133,852.0	9.97	1,334.5	0.382	51.1
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑭	0.0	9.76	⑮	0.0	
合計					⑰	1,480.9		⑱	58.5
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計								⑲	0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
	設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用

実績年度の目標達成の状況

 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東京本部(興和一橋ビル)										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	3	3	
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	5	4	区市町村名	千代田区
	町名番地下	神田錦町3-7-1興和一橋ビル6F、10F									
事業所等の延床面積	1,992.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)										
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分	<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点	2015/3/31解約。										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	42	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	63 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	63 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	31.6 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	164,926.0	9.97	1,644.3	0.382	63.0
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.382	⑬
合計					⑭	1,644.3		⑮	63.0
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計							⑯	0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
				C508	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策				
	設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	MSK安心ステーション(住友不動産四谷ビル)											
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	3	9		
事業所等の所在地	〒	1	6	0	-	0	0	0	7	区市町村名	新宿区	
	町名番地下	荒木町13-4住友不動産四谷ビル2F、3F										
事業所等の延床面積	2,021.65		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有											
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)			<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点	事業所の延床面積を四捨五入した面積から実質面積へと変更した。											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	204	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	304 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	304 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	150.3	kg-CO ₂ /m ²
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)		

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/> Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/> kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/> L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>	0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>	0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/> kWh	796,048.0	9.97	7,936.6	0.382	304.1
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/> kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/> kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	^㉗ 0.0	9.76	^㉗ 0.0	0.382	^㉗ 0.0	
合計					^㉗ 7,936.6		^㉗ 304.1	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/> m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/> m ³	0.0			0.450	0.0	
合計							^㉗ 0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
			C508	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策				
設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用	

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	経理部(一ツ橋ビル)											
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	4	0		
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	0	3	区市町村名	千代田区	
	町名番地以下	一ツ橋2-6-3一ツ橋ビル3F、4F										
事業所等の延床面積	1,188.75		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満					
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有											
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)											
	<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	33	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	50	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	50	t
二酸化炭素排出原単位の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	42.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	131,773.9	9.97	1,313.8	0.382	50.3
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
合計						⑪	1,313.8	⑫	50.3
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.200	0.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	0.0			0.450	0.0	
合計							⑬	0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	
エネルギー等の 使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C507	温度計等による室温の把握と調整
				C508	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策				
	設備導入対策			E123	トップランナー機器の採用

実績年度の目標達成の状況

 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度28度③社内パソコンの省エネ対策④クールビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動
 冬期の節電取組み:①執務室照明50%消灯②空調設定温度19度③社内パソコンの省エネ対策④ウォームビズ、消灯ルール⑤上2階、下3階の階段移動

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東京住友ツインビルディング西館										
事業所番号	A	0	9	2	7	-	0	0	4	1	
事業所等の所在地	〒	1	0	4	-	0	0	3	3	区市町村名	中央区
	町名番地以下	新川2-27-2									
事業所等の延床面積	58,883.47		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満			
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)		<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	7	2	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成26年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	944	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,424	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	7	t
総計(④=②+③)	④	1,431	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	24.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(冷水)	<input type="checkbox"/>	MJ	2,544,163.0	1.36	3,460.1	0.052	132.3	
	その他(温水)	<input type="checkbox"/>	MJ	3,712,199.0	1.36	5,048.6	0.052	193.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般電気事業者からの買電	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	2,878,159.0	9.76	28,090.8	0.382	1,099.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	⑬	0.0
合計					⑭	36,599.5		⑮	1,424.8
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	10,719.0			0.200	2.1	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	11,562.0			0.450	5.2	
合計								⑯	7.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B103	時間的に詳細に把握	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
	B107	主要設備の使用状況の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C113	中間期における外気冷房の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
	設備保守対策			C109	空室・不在時等の空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用			
			E125	高輝度誘導灯の導入	

実績年度の目標達成の状況

 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

夏期の節電取組み:①執務室照明消灯50%目標 ②共用部照明50%消灯 ③空調設定温度28℃ ④上2階、下3階は階段を利用 ⑤未使用時電気機器OFF